

令和7年8月6日

## 第2回東京都エネルギー問題アドバイザーボード

午後1時1分開会

**【田中局長】**

それでは、これより令和7年度第2回東京都エネルギー問題アドバイザリーボードを開会いたします。

東京都産業労働局長の田中でございます。議事が始まりますまでの間、進行役を務めます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、6名の委員の皆様にご出席いただきありがとうございます。オブザーバーといたしまして、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部水素・アンモニア課長の廣田様にもお越しいただいております。後ほど、国の取組についてもお話しいただきます。また、有識者ヒアリングにおけるゲストスピーカーといたしまして、一般財団法人日本エネルギー経済研究所資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット研究理事の久谷様にもご出席いただきありがとうございます。ありがとうございます。

まず初めに、小池知事からご挨拶をいただければと思います。

**【小池知事】**

お暑うございます。ほんとにお風呂の温度だとちょうどいいぐらいかもしれませんが、昨日は兵庫県・丹波市で41.8度、伊勢崎が41.8度、いずれにせよ41度が各地で出ているということで、本当にうだるような暑さというのはこのことを言うのだろうと思います。

そして、気候変動についてはですね、この言葉は、先日もアメリカに行ってまいりましたけれども、この言葉を発するのか否かでいろいろとその人の政治的な立場も違ったりするのも興味深いところでございます。ニューヨーク国連本部でグテーレス事務総長ともお会いしてきました。また、スピーチでも、やはり気候変動問題についてはですね、非常に熱く語っておられたところでございまして、危機感を共有したところでございます。

持続的な成長の大前提は安全安心でございます。困難を乗り越えて適応するレジリエンスの強化が必要でございます。特にエネルギーをめぐるまはては、脱炭素化、そしてエネルギー安定確保の両立という視点が欠かせないかと存じます。その中で、グリーン水素を、この間も皆様方といろいろとご議論させていただいてまいりました。今年度、大規模な製造を開始しまして、この水素で例えばPRも含めて化粧品を水素で作ろうということなど、様々な分野での活用を進めているところでございます。東京はエネルギー大消費地でございますので、つくる、運ぶ、使うということでこの取組を戦略的に展開し、グリーン水素の社会実装化をさらに加速させてまいり所存でございます。

国際情勢も本当に厳しゅうございます。そして、中東地域を見ましても、イランへの爆撃から、そことの関連のスエズに関連するフーシの動きであるとか、ガザそのものもそうで、また、何よりも日米間の関税問題もホットイシューで、それに関連しての金利がどうなっていくのか、そして、油価そのもの油の値段そのものと関連して、そしてまたグリーン水素のコストがどうなるのか、いろいろと課題は山積ではございますけれども、我が国にとりましての国家的な課題は、やはりエネルギーをいかにして持続可能な形で確保するかでございますので、ぜひともこのピンチをですね逆にチャンスにする、その思いですね、これからも東京都としてできることを進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今日は、暑い中、ありがとうございます。

**【田中局長】**

ありがとうございました。本日も皆様にご協力いただき、実りある議論を行いたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

知事は都合によりまして、ここで退席させていただきます。

**【小池知事】**

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

(知事退席)

【田中局長】

また、報道関係の方におかれましては、事前にご案内いたしましたとおり、公開はこちらまでとさせていただきます。こちらで皆様もご退室をお願いいたします。

(プレス退室)